

輸送動向について（12月分）

平成25年1月

1. 輸送概況

今月は、7日に三陸沖で発生した地震による運転規制の実施及び北日本地区を中心とした強風や大雪等による輸送障害の多発により、月全体で高速貨143本が運休となった。

荷動きについては、海外の景気減速を受けて輸出を中心に生産が減少しており、さらに自然災害の影響を受けた。しかし、前年、東日本大震災に伴う一部メーカーの生産減があり、月全体では前年をわずかに上回った。

コンテナ貨物は、化学薬品、自動車部品等が前年を下回ったものの、紙・パルプ、エコ関連物資等が前年を上回り、全体では前年比101.0%となった。化学薬品は一部顧客の輸送中止等により大きく減送となった。また、自動車部品は国内需要の減少により減送となった。一方、紙・パルプは震災により被災した生産拠点の復旧、また、エコ関連物資は災害廃棄物の広域処理の進展によりそれぞれ増送となった。

車扱貨物は、気温の低下に伴う石油の増送があったものの、その他品目となる紙・パルプの輸送のコンテナ化の影響により、全体では前年比99.2%となった。

2. 輸送実績

(単位：千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,809	1,791	101.0%	15,507	14,592	106.3%
車 扱	1,101	1,110	99.2%	6,711	6,962	96.4%

3. 品目別輸送実績表

(単位：千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増 減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	188	191	-3	98.4%
	化学工業品	159	162	-3	98.1%
	化学薬品	119	125	-6	95.2%
	食料工業品	306	306	0	100.0%
	紙・パルプ	254	236	18	107.6%
	他工業品	139	135	4	103.0%
	積合せ貨物	197	197	0	100.0%
	自動車部品	71	75	-4	94.7%
	家電・情報機器	45	43	2	104.7%
	エコ関連物資	40	30	10	133.3%
	その他	291	291	0	100.0%
コンテナ計	1,809	1,791	18	101.0%	
車 扱	石油	829	823	6	100.7%
	セメント・石灰石	94	97	-3	97.0%
	車 両	102	103	-1	99.4%
	その他	77	88	-11	87.3%
	車 扱 計	1,101	1,110	-9	99.2%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)